

浜田山駅南側住民への説明会

議事要旨

令和6年5月7日(火)
杉並区都市整備部拠点整備担当

会議名称	浜田山駅南側住民への説明会
日 時	令和6年5月7日(火)13:30~14:40
場 所	浜田山会館
出席者	<p>■杉並区 都市整備部まちづくり担当部長、拠点整備担当課長、荻窪まちづくり担当係長</p> <p>■区民 浜田山地域住民(約15名)</p> <p>■その他 杉並区議会議員(1名)</p>
会議次第	<ol style="list-style-type: none"> 1. 開会 2. 浜田山駅南口の開設に向けた取組の経過について 3. 質疑応答

1. 開会

(住民代表挨拶)

浜田山駅に南口を整備するための活動は、もともと浜田山の住民4人で30年ぐらいにわたって行ってきたものであり、南口の整備を強く求めているのは南側に住む住民が多い。今日は、区を追及するとかそういう趣旨ではなく、まず我々の考えを説明し、区から説明いただいた上で質疑応答したいと考えている。

我々が活動を行っている理由は単純で、「踏切による事故を無くしたい」という思いからだ。浜田山の踏切は開かずの踏切である、という認識があり、30分近く開くのを待ったという話があった。踏切が開かないため、遮断機が下りているにもかかわらず小学生が待ちきれず飛び出していった、という話も聞いたことがある。高齢者も踏切を渡るのに時間がかかる。今回うまくいかなくなつて、では次をどうするのか。色々な案が考えられると思う。知恵を出し合って、解決策を見出したい。今日明日で動く話ではないと思うが、まずは意見交換して一緒に考えたい。

今日特に聞きたいことは、①一体なぜ中止となったのか、②その中で一番解決の難しいものはなにか、③南口の建物が今そのままなのはなぜか、の3つである。

2. 浜田山駅南口の開設に向けた取組の経過について

担当係長より、資料に沿って説明。

3. 質疑応答

発言者	発言要旨
杉並区	浜田山駅南口整備事業の交渉経過の記録や文書について情報公開請求を受け、それに対する処分内容について審査請求があり、審議中となっている。このため、対外的にお話しできない部分がある。また、そもそも地権者との交渉過程の内容であるため、そもそもお話しできない部分もあることをご承知おきいただきたい。
参加者	地権者との交渉が折り合わなかった、というのは賃料が理由なのか。条件を無制限に受け入れても構わないという意見もある。
杉並区	賃料だけでなく、その他の条件も含めてお互いに合意に至らなかった、ということである。
参加者	地権者の建物は、南口を整備する前提で建築されたのではないのか。
杉並区	地権者が建物を建てるので、その1階と地下1階を間借りして南口を整備する方向で地権者と話を進めてきた。京王電鉄の駅舎と地権者の建物を接続する地下通路は区が借りた後に、区が整備する方針であった。このため、現時点では地下通路は作られていない。

参加者	今回話を聞いて、地権者の建物について、まだ通路ができていないことを理解できた。地権者と改めて話す予定はあるのか。
杉並区	契約交渉でお互いに相容れなかつたことによって断念しており、少なくとも当面の間はこちらから声をかけるのが難しいと考えている。先方から何らかの事情があつてお声がけがあった際はぜひ協議したいとは考えている。
参加者	それならば、他の案を検討しなくてはならないことを理解できた。こちらからの新たな案として、浜田山公園（三角公園）から地下道を通して南口にすることを提案する。
杉並区	一つの案として検討する余地はあるが、現実的には現時点では難しいと考えている。
参加者	令和6年4月に群馬県高崎市で発生した上信電鉄の女児踏切死亡事故では、事故発生後に高崎市だけでなく、国や県、鉄道事業者がすぐに対応策を話し合うことがあった。浜田山についても協議会を作成し、みんなで考えていくのはどうか。
杉並区	この場ではお答えしがたいが、一つの考え方として受け取った。
参加者	浜田山駅周辺を再開発し、土地を収用してしまうのはどうか。
杉並区	往々にして再開発には何かのきっかけが必要になる。また、そもそも大掛かりな再開発は、浜田山の住民に望まれていないのではないか。
参加者	浜田山駅に直結する必要はなく、北口と南口に土地を用意して、橋を架けるようにすればよいのではないか。
杉並区	駅の出入り口ではなく、南北通路という方法もあると思う。ただ、何をやるにせよ土地が必要であるということに変わりはなく、簡単に条件のよい土地が出てくるわけではないので、早急にどうというのは難しいと考えている。
参加者	過去我々は、京王電鉄への要望や、区議会への要望を行ってきた。区議会への請願が平成17年に採択され、区が動き出したということだ。
参加者	令和6年3月22日に起きた浜田山駅での事故について教えてほしい。もし京王電鉄に確認をして情報が得られなかったということであれば、警察に確認をしたらどうか。
杉並区	今回の浜田山駅の事故は、踏切で発生したものではなく、ホームでの事故と京王電鉄から聞いている。
参加者	今回の事故は踏切ではなかつたかもしれないが、踏切での事故も過去に発生していたのでは。過去の浜田山駅で発生した事故については警察に問い合わせてみたら分かるのでは。

参加者	考えられる案として、1案、2案と出てくるかと思うが、「このままでいく」案というのもあるのを認識してほしい。その場合は、危険な状態をそのままにするということを意味するのでそれは避けてほしい。
参加者	令和5年3月に区長へのはがきを出した。良い回答がもらえるかと期待したが、通り一遍の回答しかもらえなかった。
杉並区	今回、地権者との協議は調わなかったものの、区の姿勢としては、地域の安全性・利便性の向上のために南口の整備について検討していくことに変わりはない。一方、整備のための土地等の確保が出来ていないため、差し障りの無い回答にはなってしまっている。
参加者	我々は京王電鉄に一番の責任があると考えている。京王電鉄が動かないなら、区の立場から駅の安全対策など、法律の観点等からの指導はできないものか。
杉並区	法律の観点で言えば、安全性・利便性向上を目的としたもので、バリアフリー法が挙げられるが、浜田山駅は法律で求められるバリアフリー対策はとられている。現状において鉄道会社として何らかの手立てを講じる義務は負っていないと認識している。そして、鉄道会社としては、コロナを経て旅客が8~9割程度で戻らないという状況もあり、利便性向上にどれだけ投資できるかという問題もあると認識している。安全性・利便性という観点から地元自治体として杉並区が対応することもあり、井の頭線沿線でも国庫補助を受けながら協力・分担して自由通路みたいなものを整備するケースもある。
参加者	政策の決定プロセスについて、教えてほしい。行政発意なのか議会発意なのか。決定プロセスがわかれば我々からもそこに対して運動をすることができるようになる。
参加者	今日この場が開催できてよかったです。状況は変わらないのかもしれないが、こうやって直接聞くと色々なことが理解できた。なかなか難しい状況にあるということも、また区役所があきらめているわけではないことも確認できた。ありがたい。こういうことを続けていきたい。
参加者	本日この場でのやり取りについては、きちんと区長に報告として挙げて欲しい。要点としては、以下の3点。 <ul style="list-style-type: none"> ・これまで検討していた地下通路以外の別の方法も検討して欲しいこと ・住民を交えたアイディアを出し合うなどの協議の場を設けて欲しいこと ・南口はぜひ整備してもらいたいこと
杉並区	我々の思いとしては先ほど申し上げた通り、このままでよいとは思ってはいないが、な

かなか難しい状況があるということもご承知おき頂きたい。なお、令和4年度末に、地元の町会長や商店会長に対して個別の説明に回ったが、その中で、地権者にも配慮し、少し様子をみたほうがいい、地域に周知したりすぐに何かを始めたりしないほうがよいという意見もあった経緯がある。行政としては様々な方面に目配せが必要と考えている。今日のような話があったことは内部で共有したい。また何かあればいつでもお声がけいただくなり区役所にお越しただくなりしてほしい。